

「月山を外来植物から守ろう Part1 及び Part2」実施報告書

環境省羽黒自然保護官事務所
月山ビジターセンター運営協議会

磐梯朝日国立公園出羽三山地域の月山は、参拝や登山、観光を目的として多くの方が訪れています。しかし、近年、山頂周辺や登山道沿いなどに本来生育していなかった外来植物や低地に生える植物の繁茂が確認されています。

そのため、これらの植物を除去することをおして、月山本来の植生を保全し、月山のすばらしい自然を理解いただくための行事を昨年度に引き続き、今年度も開催しました。

■月山を外来植物から守ろう Part1

1 主催、後援等

主催：環境省東北地方環境事務所、月山ビジターセンター運営協議会及び山形県自然公園保全整備促進協議会の共催

協力：休暇村羽黒

後援：鶴岡市、西川町、庄内町

2 日時

平成 26 年 6 月 22 日（日） 6:30～17:00 天候：曇り後晴れ

3 場所

磐梯朝日国立公園 月山 8 合目（羽黒口）～月山山頂～鍛冶小屋跡地～月山 8 合目
（山形県鶴岡市羽黒町、東田川郡庄内町、西村山郡西川町）

4 参加者

一般参加者：7 名、市町職員：3 名（鶴岡市 2 名、西川町 1 名）、月山ガイド協会：1 名、
月山朝日ガイド協会：2 名、月山頂上小屋：1 名、羽黒地区パークボランティア 3 名、月
山ビジターセンター：2 名、環境省羽黒自然保護官事務所：2 名 **合計 21 名**

5 外来植物除去作業

作業時間：12:00～12:50

作業場所：鍛冶小屋跡地

除去対象種：セイヨウタンポポ

作業方法：手作業で適宜草取り器具を用いて、全草（根を含む）を除去

除去量：10.1 kg（生重量、採取後は袋に詰めて持ち帰り適切に処理）

※自然公園法に基づく植物採取許可、土地所有者の許可を得て実施

※文化財保護法にかかる申請手続きは、当該作業は不要

6 記録写真



登山中の様子①



登山中の様子②



平成 25 年 9 月の外来植物除去作業地
を観察（月山神社前広場）



除去作業の説明の様子



除去作業前の様子



除去作業の様子①



除去作業の様子②
手作業で草取り器具を用いて、なるべく根を残さないように除去作業を実施



除去作業の様子③
一般利用者へ高山植物採取の誤解を招かないように「外来植物除去作業中」の掲示



除去作業の様子④



根の長さ計測中の様子
作業中に除去したタンポポの根の長さを競う催し「根比べ大会」を実施



除去作業後の様子（上写同箇所）
※残っている黄色い花は除去対象外のヤマガラシ



作業ふりかえりの様子

■月山を外来植物から守ろう Part2

1 主催、後援等

主催：環境省東北地方環境事務所、月山ビジターセンター運営協議会、及び山形県自然公園保全整備促進協議会の共催

協力：休暇村羽黒

後援：鶴岡市、西川町、庄内町

2 日時

平成 26 年 6 月 26 日（木）8:00～6 月 27 日（金）15:20 天候：両日とも晴れ

3 場所

磐梯朝日国立公園 月山 8 合目（羽黒口）～月山山頂～鍛冶小屋跡地～月山頂上小屋泊～月山 8 合目（山形県鶴岡市羽黒町、東田川郡庄内町、西村山郡西川町）

4 参加者

一般参加者：21 名、月山頂上小屋：1 名、羽黒地区パークボランティア 2 名、月山ビジターセンター：2 名、環境省羽黒自然保護官事務所：2 名

合計 28 名

5 外来植物除去作業

作業時間：6 月 26 日（木）13:50～16:30

作業場所：鍛冶小屋跡地及び月山山頂周辺

除去対象種：セイヨウタンポポ、オオバコ

※Part1 にて除去しきれなかったセイヨウタンポポ、オオバコを採取対象とした
作業方法：手作業で適宜草取り器具を用いて、除去。セイヨウタンポポは全草（根を含む）、オオバコは生長点が地下 1 cm 内にあるため地下 1 cm より上を除去。

除去量：37.4 kg（生重量、採取後は袋に詰めて持ち帰り、適切に処理）

※自然公園法に基づく植物採取許可、土地所有者の許可を得て実施

※文化財保護法にかかる申請手続きは、当該作業は不要

6 記録写真

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>出発前に靴底に付着した種子等を除去</p> | <p>登山中の様子②</p> |
|  |  |
| <p>登山中の様子②</p> | <p>平成 25 年 9 月の除去作業地を観察 (月山神社前広場)</p> |
|  |  |
| <p>除去作業地全景 (鍛冶小屋跡地)</p> | <p>除去作業の様子①</p> |



除去作業の様子②
手作業で除去作業を実施。



除去作業の様子③
一般利用者へ高山植物採取の誤解を招かないように「外来植物除去作業中」の掲示



除去作業の様子④
(山頂トイレ前通路)



除去作業の様子⑤
(山頂トイレ前通路)



除去した外来植物



頂上小屋主人 芳賀竹志氏による高山植物観察会
クロユリをはじめとする月山の高山植物の素晴らしさを
小屋主人ならではの話を交えてご紹介いただいた。



イベント終了時のふりかえりの様子

■今後に向けて

今回の行事では、外来植物であるセイヨウタンポポの分布拡大防止のため、種子を散布する前の6月に、Part1の日帰り、Part2の一泊二日（頂上小屋泊）にて実施した。

参加者は庄内地方在住の方が多く占めるが、宮城県仙台市からも数名の参加があった。また、後援の関係市町の職員、羽黒町側のみならず西川町側の関係団体（エコプロや月山朝日ガイド協会）よりも参加協力を得て、開催することができた。

イベント終了後に実施した参加者アンケート結果では、外来植物除去作業の必要性・継続性を望むコメントが非常に多く寄せられた。また、月山の高山植物等の素晴らしさを体感することにより、除去作業の目的である「月山本来の植生を保全」ということをしっかり認識いただいたようである。また、「月山に外来植物が生えていることを知っていたか？」との質問に、Part1・2合わせおおよそ半々の回答となった。昨年の行事実施時よりも「知っていた」の回答割合が増加している。（平成25年9月の行事実施時にも同内容のアンケートを実施し、2/3が知らなかったと回答）。今回の行事には、昨年に続いての参加となったリピーターの方もおり、少しずつ周知も広がっているようである。

加えて、除去行事の増加や当該作業地以外で生育している外来植物の除去作業を希望する声もある。寄せられたアンケート等を参考に、除去作業含めた行事の充実を図り、関係諸団体と連携しながら、月山の外来植物の完全除去へ向けて、今後も継続的に実施していきたい。

なお、今年度はクリーン登山とあわせ、9月にも一泊二日を実施予定である。